

経済・財政再生アクション・プログラム（骨子案修正版）
— “見える化” と “ワイズ・スペンディング” による改革推進—

1 改革推進の要点

（1）躍動感ある改革を進める

- ・改革の実現には「躍動感」が重要。大胆な改革を可能ならしめる仕掛けが「見える化」であり、「見える化」を強力に推進
- ・ワイズ・スペンディングにより経済再生と財政再建の両立を実現
- ・本委員会として単年度主義を超えるコミットメントを継続

（2）初年度のスタートダッシュが重要

- ・平成 28 年度の予算編成等への反映
- ・着手する主な「見える化」の取組

2 改革の目指す姿

- ・「見える化」—①関係主体・地域間で比較できて差異が分かる、②行政の運営改善や成果の有無・程度が分かる、③改革への課題の所在が分かる
- ・改革に対する国民の理解と納得感を広げる

3 主要分野毎の改革の取組

主要な歳出項目 80 項目のすべてについて、改革の具体的な内容、規模、時期等について明確化。K P I（160 程度）を進捗管理、構造変化、マクロ効果の階層により体系化

（1）社会保障

- ・医療・介護等の給付の実態の徹底的な「見える化」を進めた上で、地域差を分析し、その是正等に向けた取組を推進
- ・病床の機能分化・連携の推進に向け、地域医療構想を 2016 年度末までに前倒しで策定し、医療提供体制の適正化の取組を推進。医療費の適正化については、医療費適正化計画を策定し、取組を推進
- ・疾病の予防、重症化予防、介護予防、後発医薬品の使用や適切な受療行動をとること等を目指し、個人と保険者の双方の取組を促すインセンティブのある仕組みを構築（国保の保険者努力支援制度、後期高齢者支援金の加算・減算制度、ヘルスケアポイント等）
- ・負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化について、実施検討時期や改革の方向性等を明確化
- ・薬価、調剤等の診療報酬及び医薬品に係る改革については、平成 28 年度診療報酬改定等における対応を明確化 等

(2) 社会資本整備等

- ・持続可能な都市構造への転換とストック適正化ーコンパクトな都市構造の実現、維持管理コストや資産に関する情報の見える化による公的ストックの適正化、PPP/PFI の積極的な活用のためのプラットフォームの全国整備等
- ・社会資本整備の基本戦略ーストック効果の最大化を目指した選択と集中、インフラ長寿命化とメンテナンス産業の育成・拡大、現場の担い手確保のための構造改革、建設生産システムの生産性の向上 等

(3) 地方行財政改革・分野横断的な取組等

- ・地方創生、行財政改革等の地方の頑張りを引き出すため、まち・ひと・しごと創生事業費の配分の成果へのシフトやトップランナー方式(歳出効率化に向けた業務改革で他団体のモデルとなるものを基準財政需要額の算定に反映)の導入を推進
- ・業務改革モデルプロジェクト(各都道府県に概ね1市町村)や標準委託仕様書の作成による適正な民間委託等の加速 等

(4) 文教科学技術、その他

- ・教育効果のエビデンスを重視した一步進んだ政策展開
- ・少子化の進展・学校規模の適正化等を踏まえた教職員定数の見通しの提示
- ・国立大学・応用研究への民間資金導入、教育・研究の質の向上を測るKPI設定 等

4 実効的なPDCA構築

- ・的確なチェックがなされ、その結果が次のアクションとプランニングに確実に反映されるサイクルとして機能
- ・単年度と複数年度のPDCA、ミクロの点検とマクロの評価、行政自らによる評価と外部の検証・分析など組み合わせた中期的で実効的なPDCA構築

●工程表編

- ー重要課題別の改革工程表

●図表編

- ー重要課題別のKPI
- ー改革の効果
- ー今後の見える化の取組リスト、主な見える化の例

●参考

- ー各府省庁の一体改革に向けた取組・検討状況について